

2014年3月期 第3四半期 決算会見資料

2014年1月30日
NECネットエスアイ株式会社
(銘柄略称: NESIC 銘柄コード: 1973)

子会社従業員による不正行為について 1 / 2

連結子会社であるネッツエスアイ東洋のいち従業員による不正行為につきましては、多大なご迷惑とご心配をおかけしました。

調査委員会による事件の解明を進め、コンプライアンス強化、再発防止に努めてまいります。

業績インパクトと今後の開示について

- 被害総額 : 15.6億円
※各年度の金額については次ページ(監査前)
- 過年度決算短信／
有価証券報告書等の訂正(監査後) : 2月14日(金) 予定
- 調査結果、再発防止策等の発表 : 2月中旬 目標

子会社従業員による不正行為について 2/2

業績への影響額

(単位:億円)

	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	合計
売上高	売上高・営業利益には影響ございません。							
営業利益	売上高・営業利益には影響ございません。							
経常利益	△ 0.8	△ 2.6	△ 2.6	△ 1.4	△ 1.9	△ 4.0	△ 2.3	△ 15.6
当期純利益	△ 0.5	△ 1.6	△ 1.6	△ 0.9	△ 1.2	△ 2.5	△ 1.4	△ 9.7
総資産	△ 0.5	△ 2.1	△ 3.7	△ 4.6	△ 5.8	△ 8.2	△ 9.7	
純資産	△ 0.5	△ 2.1	△ 3.7	△ 4.6	△ 5.8	△ 8.2	△ 9.7	

I. 第3四半期 決算概要

II. 通期業績見通し

I . 第3四半期 決算概要

2014年3月期 3Q／3Q累計 業績サマリー

社会インフラの好調に加え、M&Aも業績に寄与し、
大幅な増収増益。

(単位:億円)

	3Q累計実績			3Q実績		
	13／3期	14／3期	前年 同期差/比	13／3期	14／3期	前年 同期差/比
受注高	1,772	2,046	+15%	532	660	+24%
売上高	1,599	1,819	+14%	554	667	+20%
営業利益	66	77	+11	31	36	+5
(営業利益率)	(4.1%)	(4.3%)	+0.2pt	(5.6%)	(5.3%)	△0.3pt
四半期純利益	※ 38	48	+10	※ 18	21	+3
(四半期純利益率)	(2.4%)	(2.6%)	+0.2pt	(3.2%)	(3.2%)	-
フリー・キャッシュ・フロー	※ △26	76	+102	※ △66	△70	△4

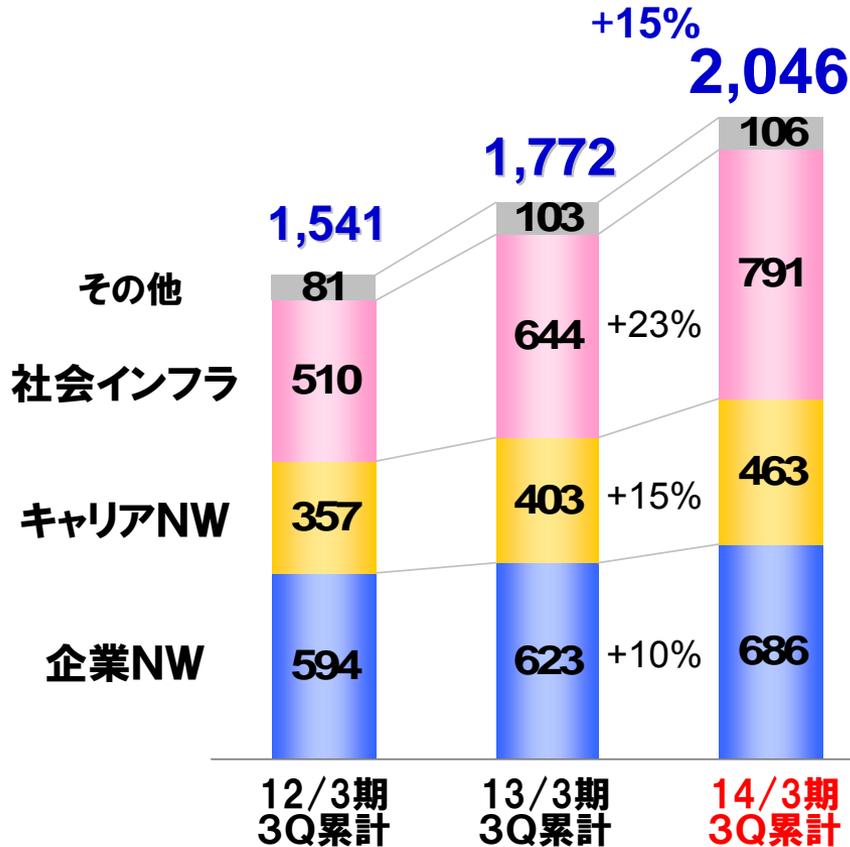
※遡及修正後

2014年3月期 3Q累計 セグメント別受注高／売上高

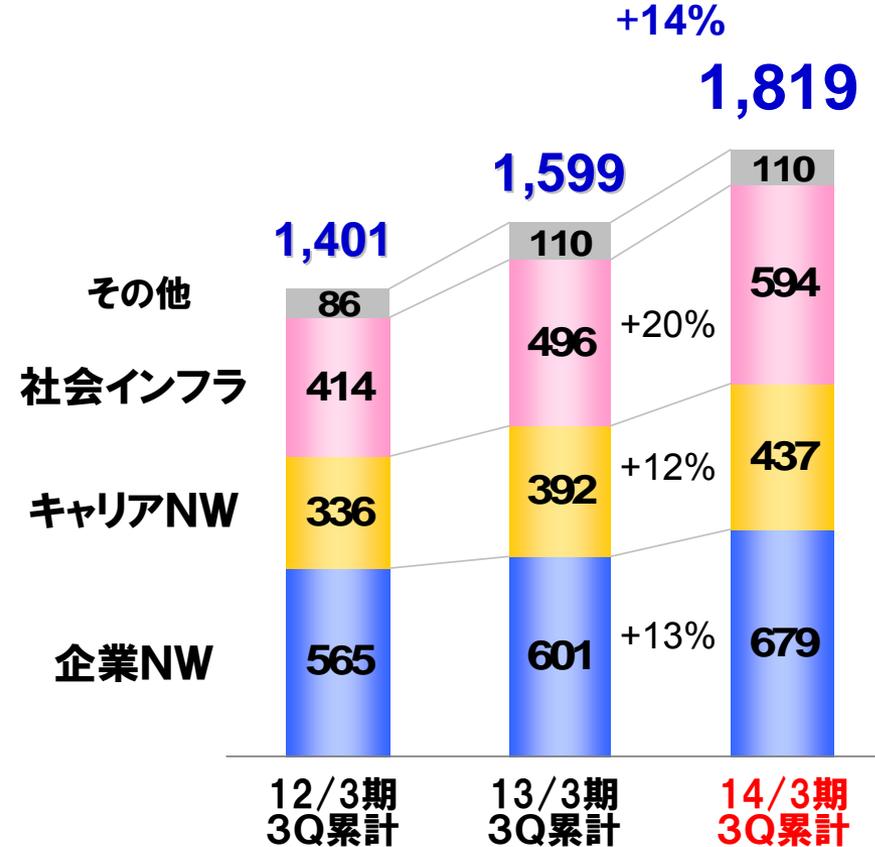
主要セグメントにおいて、受注・売上2桁成長を実現

(単位:億円)

受注高

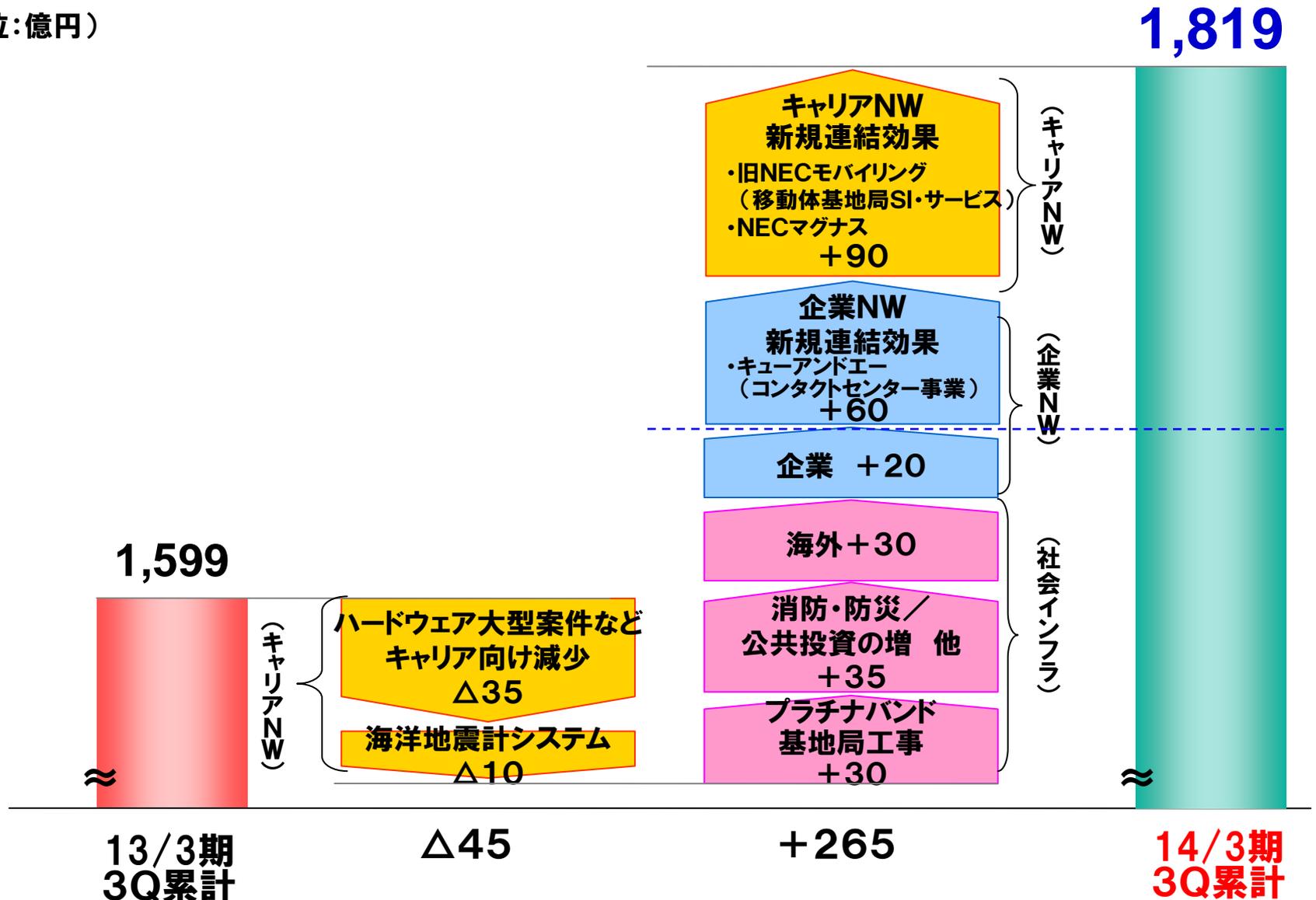


売上高



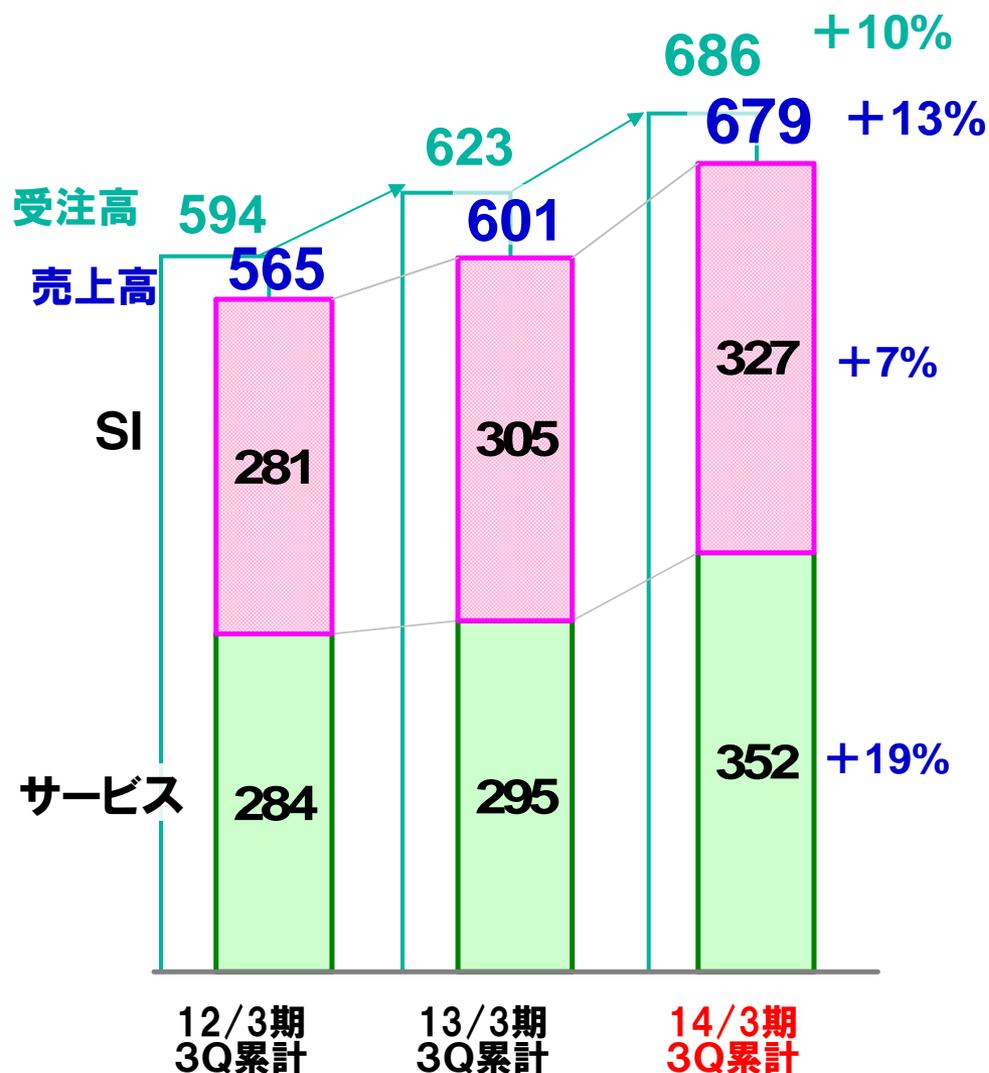
2014年3月期 3Q累計 前年同期差異要因(売上高)

(単位:億円)



2014年3月期 3Q累計 企業ネットワーク事業

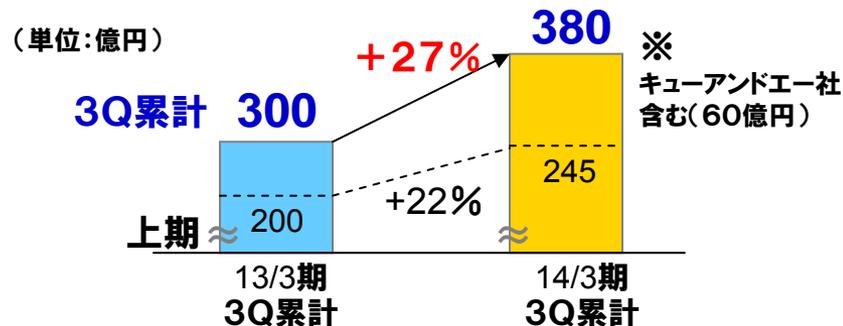
(単位:億円)



成長投資の効果により、拡大基調を継続

● EmpoweredOffice事業の成長拡大

EmpoweredOffice事業 売上高

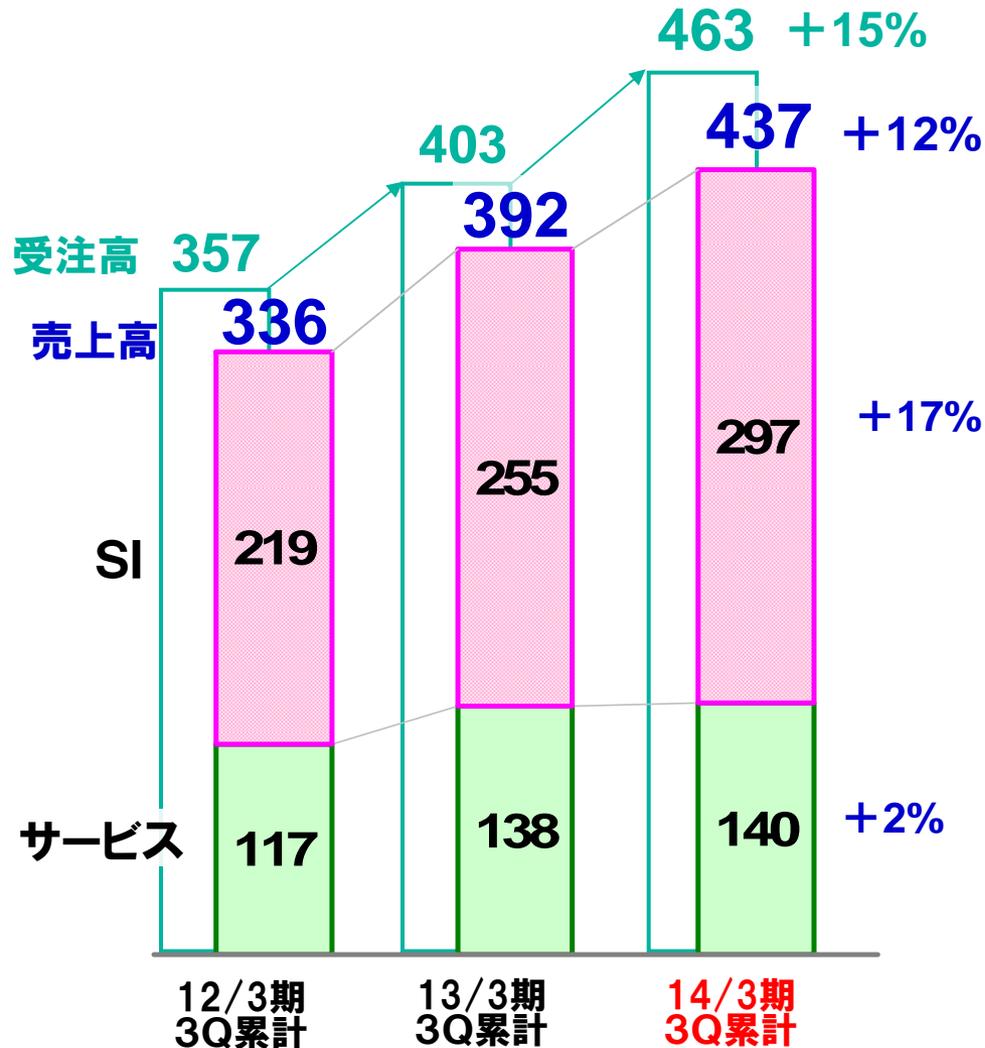


● 地域拠点のEO化を軸に、拡販活動を推進

- ・実施済: 東北、甲信越、中部、中国、九州、沖縄
- ・4Q、更に4拠点をEO化
⇒ 北海道、北陸、四国、神奈川

2014年3月期 3Q累計 キャリアネットワーク事業

(単位:億円)



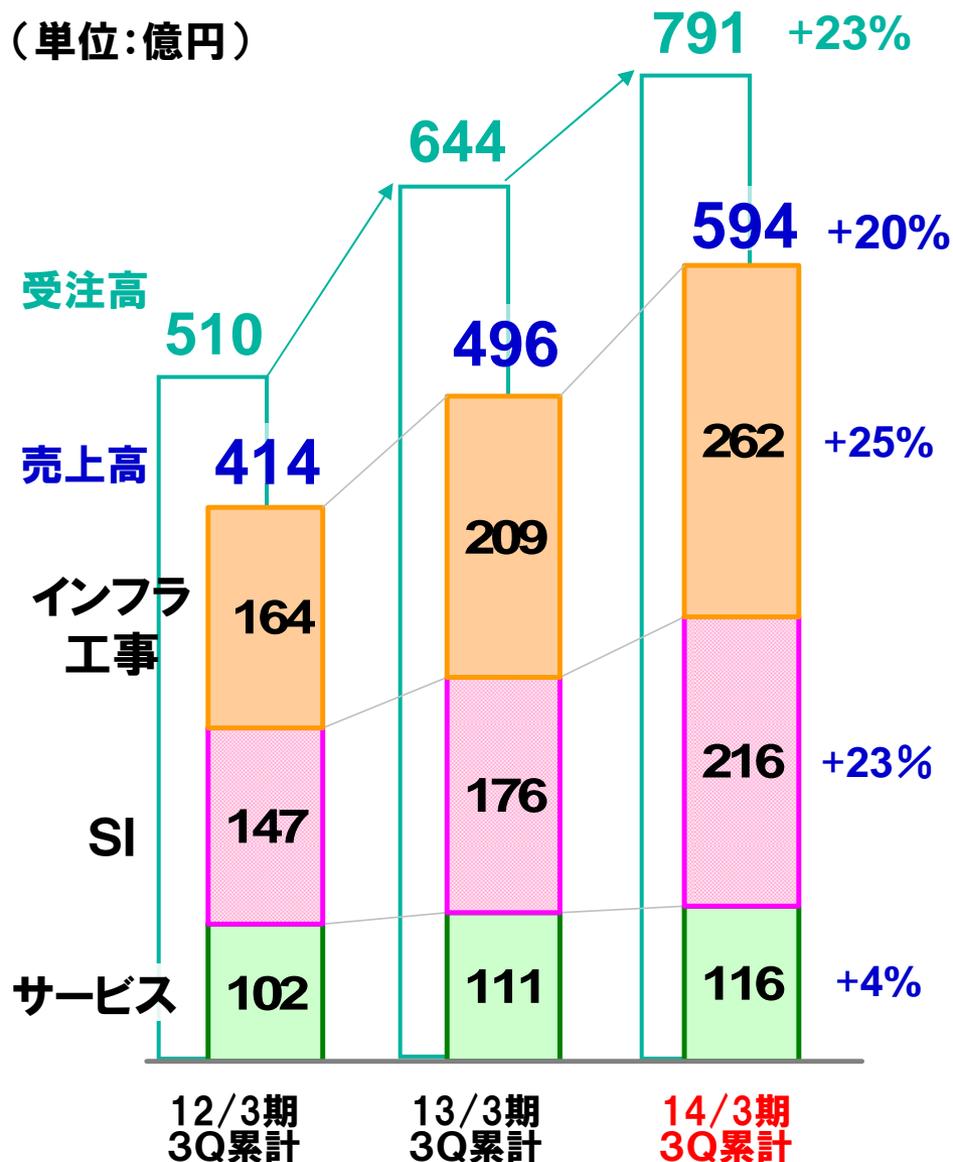
前年度大型案件※の影響 あるもM&A効果で 2桁伸張

※ハードウェア案件、海洋地震計システム

- 前年トラフィック対策需要の反動も、テクニカルアウトソーシング事業は増加(+2%)
- M&Aが業績に寄与(+90)
 - ・旧NECモバイルリングからの事業承継～移動体基地局SI・サービス
 - ・NECマグナスコミュニケーションズ

2014年3月期 3Q累計 社会インフラ事業

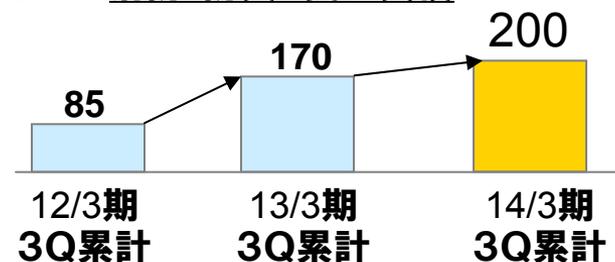
(単位:億円)



受注・売上とも大きく伸張

- プラチナバンド基地局工事は売上増も、ピークアウト
- 消防・防災システム事業を中心に安心安全をテーマとした投資が更に拡大

(単位:億円) 消防・防災 受注実績

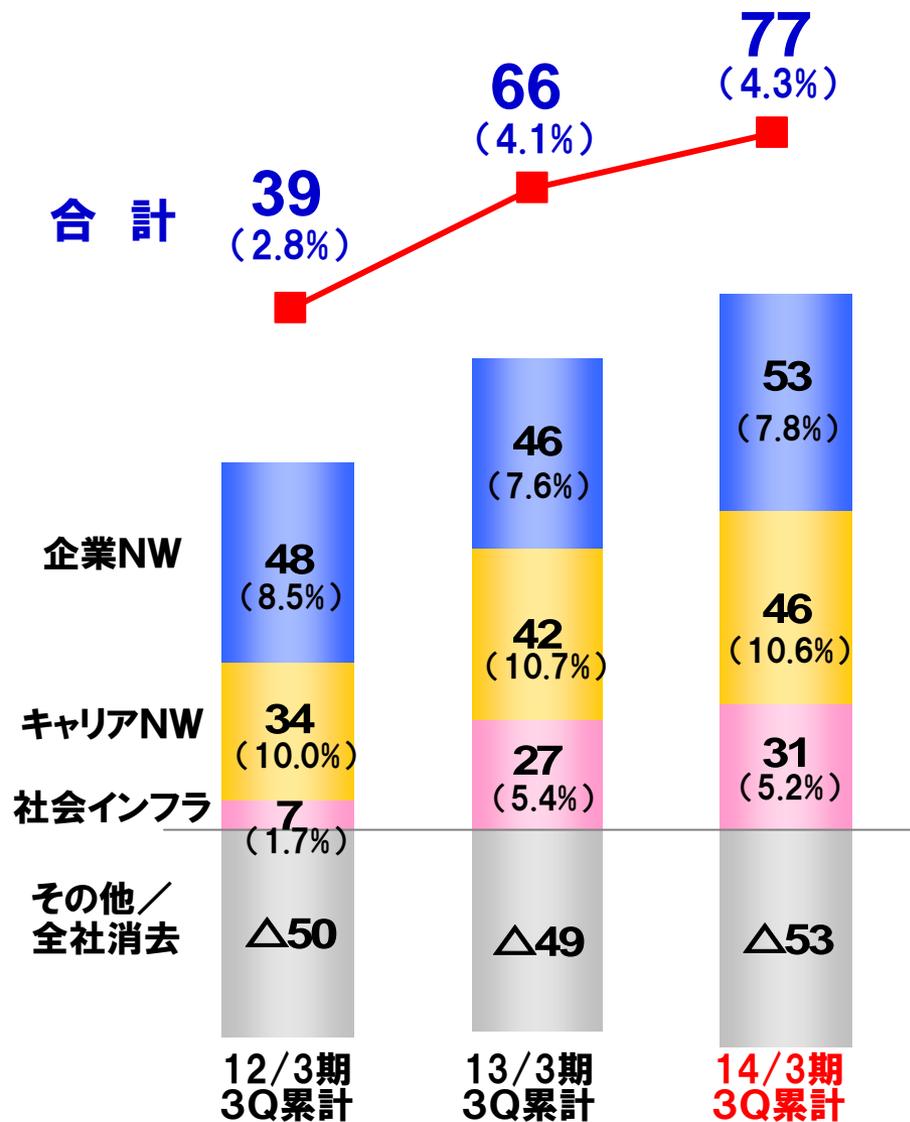


● 海外インフラ事業も拡大

- ・タイ国3G通信網工事を中心に、3Q(3ヶ月)も海外事業拡大

2014年3月期 3Q累計 セグメント別営業損益

(単位:億円)



各セグメントが着実に増益

● 企業ネットワーク

- ・売上増および内製化などの効率化の推進等により増益

● キャリアネットワーク

- ・M & A効果および内製化などの効率化により増益
- ・NECマグナスは3Q利益貢献0も収益性維持

● 社会インフラ

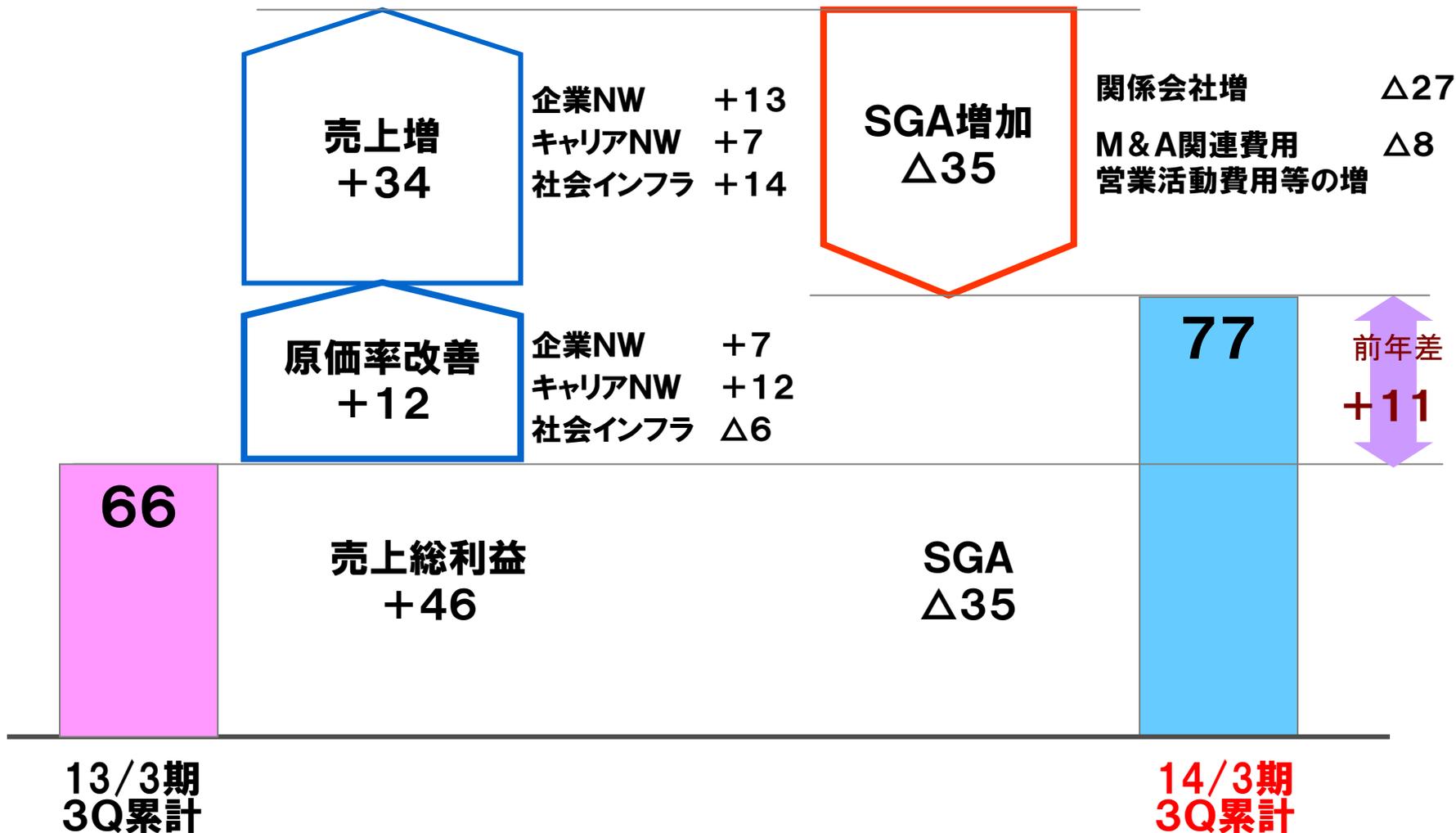
- ・売上増により増益

● その他／全社消去

- ・M & A関連やプロモーションなどの戦略的費用が増加

2014年3月期 3Q累計 営業損益 増減要因

(単位:億円)



2014年3月期 3Q累計 キャッシュフロー

前年度末売上の大型プロジェクトの回収により、
M & A等の成長投資を吸収し、収支はプラス

※遡及修正後

(単位:億円)

	※ 13/3期 3Q累計	14/3期 3Q累計
営業活動によるキャッシュフロー(A)	3	124
投資活動によるキャッシュフロー(B)	△ 29	△ 47
フリー・キャッシュ・フロー(A+B)	△ 26	76
財務活動によるキャッシュフロー	△ 48	△ 33
現金および現金同等物期末残高	301	347

2014年3月期 3Q末(13年12月末) バランスシート

※遡及修正後

(単位:億円)

		※13年3月末	13年12月末	増減
	現金及び現金同等物	303	348	45
	受取手形及び売掛金	923	806	△117
	たな卸資産	104	142	38
	その他流動資産	81	95	14
流動資産合計		1,412	1,391	△21
固定資産合計		263	315	52
資産合計		1,675	1,705	31
	買入債務	364	324	△40
	借入金	41	68	27
	その他負債	410	424	14
負債合計		815	816	1
	株主資本合計	857	877	20
	その他の包括利益累計額	△5	△3	2
	少数株主持分	7	15	8
純資産合計		860	890	30
負債純資産合計		1,675	1,705	31
自己資本比率		50.9%	51.3%	+0.4pt

不正事件による財務諸表への影響(損益計算書)

(単位:億円)

	13/3期 3Q累計			14/3期 3Q累計	
	訂正前	影響額	訂正後	影響額	決算値
売上高	1,598.8	-	1,598.8	-	1,819.4
営業利益	65.9	-	65.9	-	77.4
営業外損益	1.6	※△ 2.8	△ 1.3	※△ 2.3	1.7
経常利益	67.4	△ 2.8	64.6	△ 2.3	79.1
税引前四半期純利益	65.8	△ 2.8	62.9	△ 2.3	77.4
四半期純利益	39.8	△ 1.8	38.0	△ 1.4	48.0

※貸倒引当金繰入額

不正事件による財務諸表への影響(貸借対照表)

(単位:億円)

	13年3月末			13年12月末	
	訂正前	影響額	訂正後	影響額	決算値
現金および現金同等物	309	△ 6	303	△ 7	348
受取手形および売掛金	930	△ 7	923	△ 8	806
その他	185	0	185	0	237
流動資産 合計	1,425	△ 13	1,412	△ 16	1,391
固定資産 合計	258	5	263	6	315
資産 合計	1,683	△ 8	1,675	△ 10	1,705
負債 合計	815	0	815	0	816
利益剰余金	568	△ 8	560	△ 10	580
その他	300	0	300	0	309
純資産 合計	868	△ 8	860	△ 10	890
負債・純資産 合計	1,683	△ 8	1,675	△ 10	1,705

※

※固定資産の増加は、繰延税金資産の増加による

II. 通期業績見通し

足元の好調な業績を鑑み、通期業績予想を上方修正

(単位:億円)

	13/3期 実績	14/3期 予想値	前年 同期比/差	前回予想 13年10月30日 公表	前回予想差
売上高	2,357	2,600	+10%	2,500	+100
営業利益 (営業利益率)	125 (5.3%)	140 (5.4%)	+15 +0.1pt	135 (5.4%)	+5 ±0.0pt
当期純利益 (当期純利益率)	※ 72 (3.1%)	83 (3.2%)	+11 +0.1pt	82 (3.3%)	+1 △0.1pt

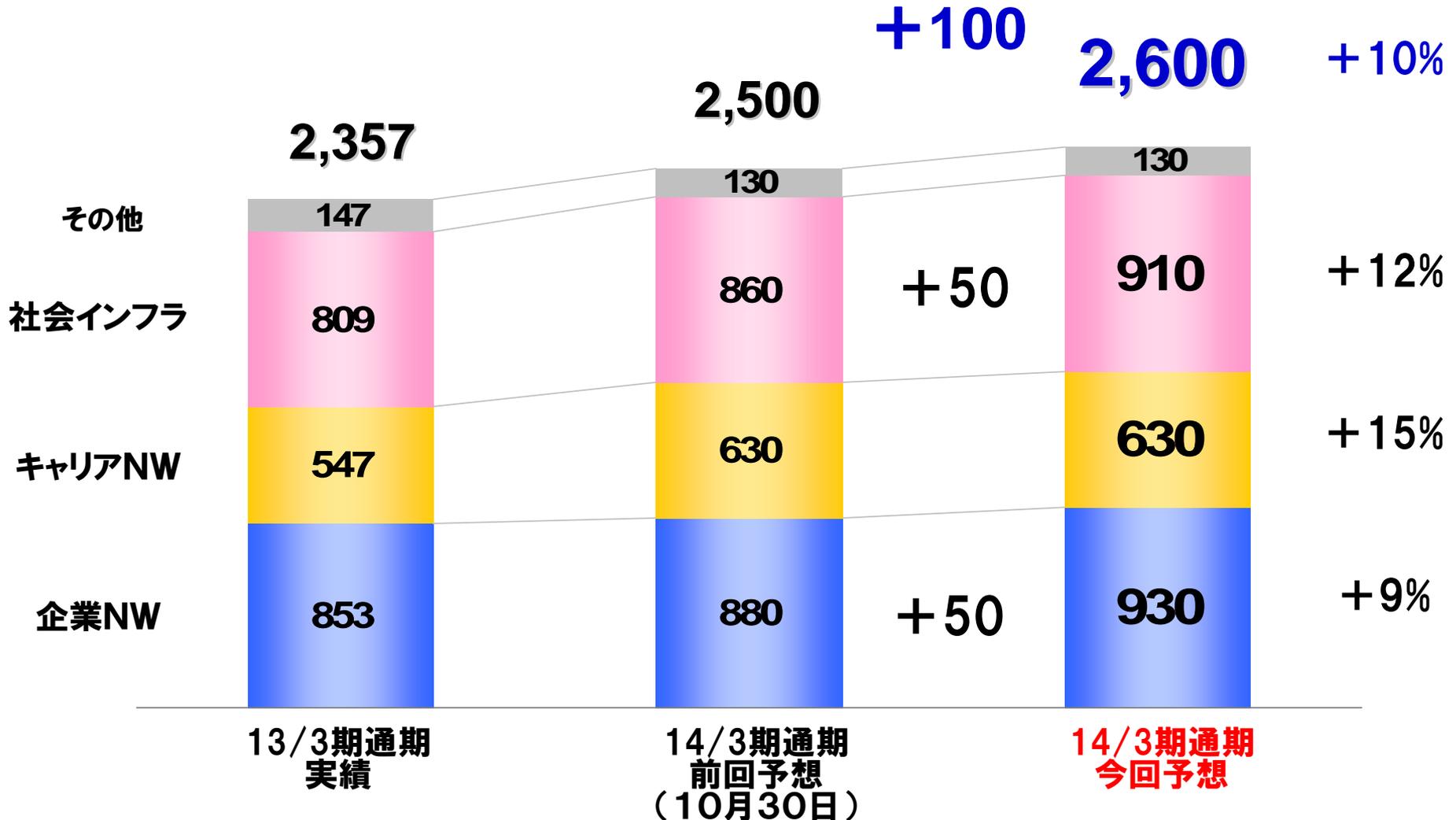
※遡及修正後

・予想値は2014年1月30日現在のものです。

2014年3月期 通期業績予想(セグメント別売上高)

(単位:億円)

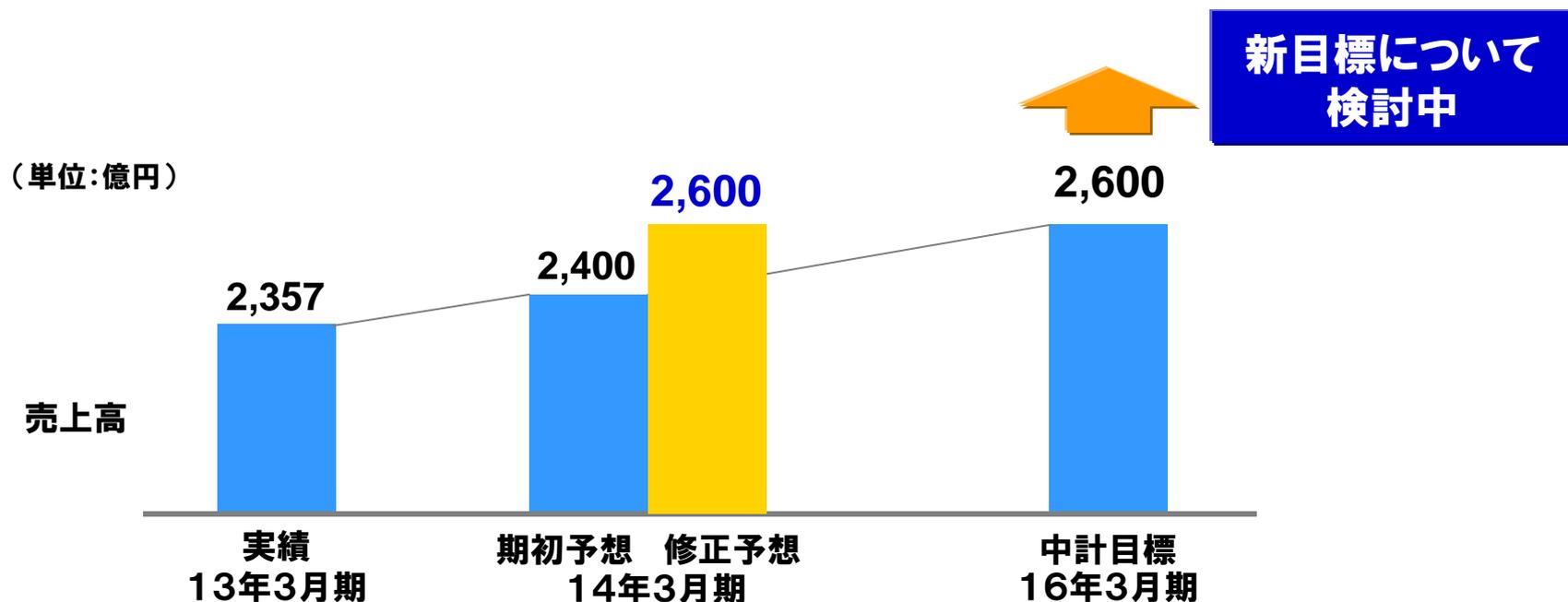
(前年伸率)



※予想値は2014年1月30日現在のものです。

中期経営目標値について

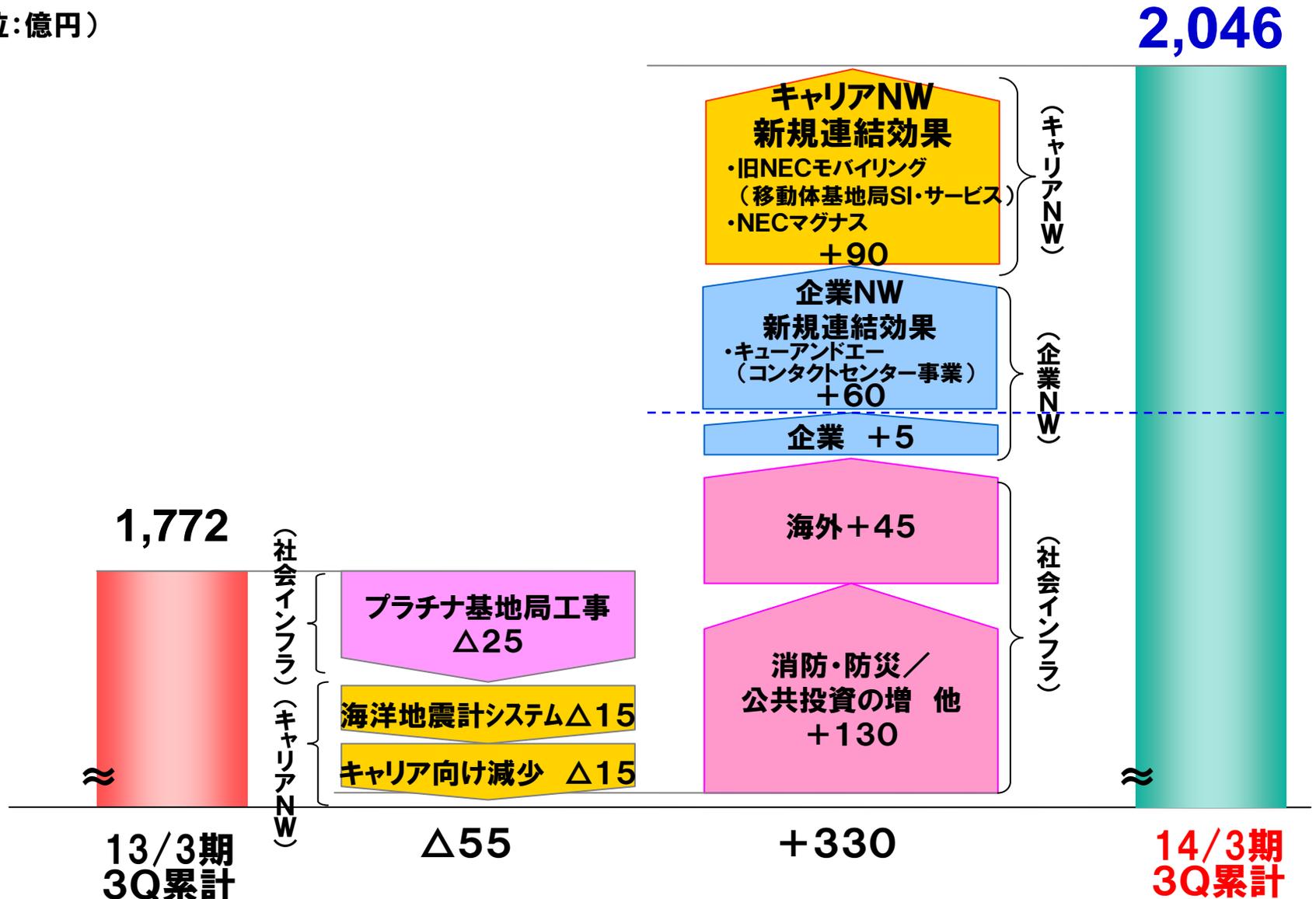
- 中期売上目標については、堅調な事業環境や NECマグナスの子会社化などにより前倒しで達成の見込み
- 新たな目標数値については、子会社化などの事業統合効果などを見極めた上、通期決算説明会にてご説明予定



(参考資料)

2014年3月期 3Q累計 前年同期差異要因(受注高)

(単位:億円)



明日のコミュニケーションをデザインする

nesic

検索



本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであり、ります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

NEC

NEC ネットワークエスアイ株式会社
NEC Networks & System Integration Corporation

www.nesic.co.jp